

首都圏史研究

年報

第13号

■ 論文

用排水幹線改良事業と農業水利体系の再編成
—東葛北部用排水改良事業の事例分析を中心に— 太田 知宏

■ 特集 首都圏史叢書にみる首都圏形成史研究会 30年のあゆみ

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1 『地域政治と近代日本—関東各府県における歴史的展開—』 | 櫻井 良樹 |
| 2 『商品流通と東京市場—幕末～戦間期—』 | 老川 慶喜・大豆生田稔 |
| 3 『帝都と軍隊—地域と民衆の視点から—』 | 上山 和雄 |
| 4 『「大東京」空間の政治史—1920～30年代—』 | 梅田 定宏・大西比呂志 |
| 5 『都市と娯楽—開港期から1930年代—』 | 羽田 博昭 |
| 6 『地域と占領—首都とその周辺—』 | 栗田 尚弥 |
| 7 『近代都市の装置と統治—1910～30年代—』 | 松本 洋幸 |
| 8 『関東大水害—忘れられた1910年の大災害—』 | 土田 宏成 |
| 9 『首都圏形成の戦後史—計画・開発と自治体—』 | 松本 洋幸 |

■ 書評

上山和雄編著『米国に遺された要視察人名簿—大正・昭和前期を生きた人々の記録—』
を読んで 井上 弘
宮間純一編『公文書管理法時代の自治体と文書管理』書評 中村 崇高
松本洋幸・大西比呂志編著『首都圏形成の戦後史—計画・開発と自治体—』書評 梅田 定宏
荒木仁朗著『江戸の借金—借りてから返すまで—』書評 牛米 努

● 首都圏形成史研究会活動報告

- ◇第122回例会 シンポジウム「『鉄道史』展示の現状と課題—地域博物館の視点から—」
報告要旨 「横浜鉄道クロニクル」展まで 岡田 直
報告要旨 激震、鉄道を襲う！—関東大震災と横浜の交通網— 吉田 律人
報告要旨 横浜市歴史博物館特別展「みんなでつなげる鉄道150年」展 小林光一郎
報告要旨 鉄道操車場物語—新鶴見から塩浜へ— 鈴木勇一郎
報告要旨 清瀬市郷土博物館特別展「走れ！清瀬鉄道物語」の成果と課題 中野 光将
参加記 シンポジウム「『鉄道史』展示の現状と課題—地域博物館の視点から—」 知野美佑子
- ◇第123回例会 報告要旨 地元中学生が記した砂川闘争1955-56
—文集「スナガワ」の検討から— 高原 太一
- ◇第124回例会
- ◇第125回例会 報告要旨 戦後東京の日雇労働者と「求職闘争」 町田 祐一
報告要旨 横浜寿町の形成過程と社会政策—日雇労働世帯
(単身・家族)の居住・労働と公的扶助をめぐって— 松本 一郎

年報 首都圏史研究 第13号 目次

論文

用排水幹線改良事業と農業水利体系の再編成

- 東葛北部用排水改良事業の事例分析を中心に—…………… 太田 知宏 1

特集 首都圏史叢書にみる首都圏形成史研究会30年のあゆみ

- 1 『地域政治と近代日本—関東各府県における歴史的展開—』…………… 櫻井 良樹 16
 2 『商品流通と東京市場—幕末～戦間期—』…………… 老川 慶喜・大豆生田稔 18
 3 『帝都と軍隊—地域と民衆の視点から—』…………… 上山 和雄 20
 4 『「大東京」空間の政治史—1920～30年代—』…………… 梅田 定宏・大西比呂志 22
 5 『都市と娯楽—開港期から1930年代—』…………… 羽田 博昭 24
 6 『地域と占領—首都とその周辺—』…………… 栗田 尚弥 26
 7 『近代都市の装置と統治—1910～30年代—』…………… 松本 洋幸 28
 8 『関東大洪水—忘れられた1910年の大災害—』…………… 土田 宏成 30
 9 『首都圏形成の戦後史—計画・開発と自治体—』…………… 松本 洋幸 32

書評

上山和雄編著『米国に遺された要視察人名簿—大正・昭和前期を生きた人々の記録—』

- を読んで…………… 井上 弘 35

宮間純一編『公文書管理法時代の自治体と文書管理』書評…………… 中村 崇高 39

松本洋幸・大西比呂志編著『首都圏形成の戦後史—計画・開発と自治体—』書評… 梅田 定宏 45

荒木仁朗著『江戸の借金—借りてから返すまで—』書評…………… 牛米 努 49

●首都圏形成史研究会活動報告

◇第122回例会 シンポジウム「“鉄道史”展示の現状と課題—地域博物館の視点から—」

報告要旨 「横浜鉄道クロニクル」展まで…………… 岡田 直 53

報告要旨 激震、鉄道を襲う！—関東大震災と横浜の交通網—…………… 吉田 律人 55

報告要旨 横浜市歴史博物館特別展「みんなでつなげる鉄道150年」展…………… 小林光一郎 58

報告要旨 鉄道操車場物語—新鶴見から塩浜へ—…………… 鈴木勇一郎 61

報告要旨 清瀬市郷土博物館特別展「走れ！清瀬鉄道物語」の成果と課題…………… 中野 光将 63

参加記 シンポジウム「“鉄道史”展示の現状と課題—地域博物館の

視点から—」…………… 知野美佑子 65

◇第123回例会 報告要旨 地元中学生が記した砂川闘争1955-56

—文集「スナガワ」の検討から—…………… 高原 太一 68

◇第124回例会…………… 70

◇第125回例会 報告要旨 戦後東京の日雇労働者と「求職闘争」…………… 町田 祐一 71

報告要旨 横浜寿町の形成過程と社会政策—日雇労働世帯

(単身・家族)の居住・労働と公的扶助をめぐる—… 松本 一郎 73

投稿規程

1. 会誌『年報 首都圏史研究』は毎年6月に刊行します。
2. 投稿資格は原則として会員に限ります。
3. 投稿はワープロ原稿を原則とし、横書きとします。投稿の際は使用ソフトを明記の上、プリントアウトした原稿3部（2部コピー可）と、原稿電子データを保存した記憶媒体（CD-R等）を事務局宛に提出して下さい。
4. 原稿の内容は、原則として、関東地方を中心とする近現代史に関するものとします。
なお、種類および枚数は、以下のように区分します。いずれも400字詰換算で、図表等を含みます。
 - ・論文（50～70枚） ・研究ノート（30～50枚） ・史料紹介（20～50枚）
 - ・書評（10～20枚） ・研究動向、論著紹介、随想、通信など（5～20枚）
5. 投稿された原稿については、編集委員会において掲載の可否を決定し、速やかに結果を通知します。このうち「論文」については、編集委員会の委嘱した審査員による査読を行います。
6. 原稿は、未発表のものに限り、他の刊行物への二重投稿を認めておりません。
7. 投稿の締切は、毎年11月末です。
8. 掲載された原稿の転載は、原則として1年間のご遠慮下さい。転載にあたっては必ず編集委員会の許可を得て下さい。

（最終改正：2019年9月26日常任委員会承認）

原稿送付先

〒231-0021 横浜市中区日本大通3
横浜開港資料館 内 首都圏形成史研究会事務局

編集後記

2024年、首都圏形成史研究会は発足から30年を迎えました。本号では、首都圏形成史研究会が研究成果として刊行してきた「首都圏史叢書」を手がかりに、これまでのあゆみを振り返る特集を組みました。また、本号からタイトル表記を西暦表記から号数表記に改めることで、タイトルと刊行年のズレを解消する改善も行いました。論文等、各種研究の積極的な投稿をお待ちしています。

『年報 首都圏史研究』第13号編集担当
伊藤陽平、恩田睦、土田宏成、半戸文

『年報 首都圏史研究』第13号

2024年6月30日発行

発行・編集 首都圏形成史研究会

会 長 上山和雄

事務局 長 西村 健

事務局 〒231-0021 横浜市中区日本大通3番地

横浜開港資料館内

TEL：045-201-2169 / FAX：045-201-2102

ウェブサイト <http://shutokenshi.org/>

印刷・製本 藤原印刷株式会社